

平成 29 年度第 1 回学校関係者評価報告書

学校法人諏訪学園山形医療技術専門学校が、平成 28 年度第 2 回自己点検・評価表に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、その結果を以下のとおり公表いたします。

1 学校関係者評価委員会委員

委員長	梶原賢	校長
委員	杉原敏道	教育部長
委員	磯部佳宏	総務部長
委員	武田貴好	教育部主任
委員	古内慶弘	教務課長
委員	長沼誠	理学療法学科長
委員	鈴木竜平	作業療法学科長
外部委員	菊地和博	東北文教大学短期大学部 特任教授
外部委員	飯塚力	サンワ機器 代表取締役
外部委員	早坂奈緒子	篠田総合病院 理学療法士
外部委員	沼沢和宏	至誠堂総合病院 作業療法士

2 自己点検・評価表の大項目

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 教育理念・目的・人材育成像 | 6 教育環境 |
| 2 学校運営 | 7 学生の受入れ募集 |
| 3 教育活動 | 8 財務 |
| 4 学修成果 | 9 法令等の遵守 |
| 5 学生支援 | 10 社会貢献・地域貢献 |

3 平成 28 年度第2回自己点検評価表

自己点検評価については、4 段階で評価しています。

(1) 教育理念・目標

評価項目	自己点検 評 定	自己点検評価での課題、今後の対策等
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	①現状と課題 前期に引き続き、教育理念・目標・育成人材像などの学内表示、ホームページ、シラバスへの掲載は継続的に行っている。また、オープンキャンパスや高校訪問、入学時オリエンテーションでも積

・学校における職業教育の特色は活かされているか	4	<p>極的に伝えている。</p> <p>学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、実習指導者会議などを通じての業界のニーズ把握にも積極的に努めている。</p> <p>②今後の対策</p> <p>教育理念・目標・育成人材像などの周知は概ね達成されている。学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、実習指導者会議などを通じて業界のニーズ把握にも継続的かつ積極的に努める。</p>
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構造を抱いているか	4	
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	

(2) 学校運営

評価項目	自己点検 評 定	自己点検評価での課題、今後の対策等
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	<p>①現状と課題</p> <p>学校運営については、運営委員会、入試委員会、教務委員会を核とした委員会を中心に協議の上、運営している。また、重要な案件については、学園の理事会に諮り承認を受けている。</p> <p>新たな事業計画として平成 31 年から創設される予定である「専門職大学」について情報収集に努める。</p> <p>コンプライアンス遵守の一環として山形県警に依頼し、交通安全に関する講習会や薬物に関する講習会などを実施した。</p> <p>②今後の対策</p> <p>専門職大学について設置基準等の情報収集に努める。</p> <p>コンプライアンス遵守の意識を高める方策として今後も継続して講習会などを実施する。</p>
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか。有効に機能しているか	3	
・人事・給与に関する規程等は整備されているか	4	
・教務、財務等の組織整備など、意思決定システムは整備されているか	4	
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか	3	
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	

・情報化システム化等による業務の効率化が図られているか。	3	
------------------------------	---	--

(3)教育活動

評価項目	自己点検 評 定	自己点検評価での課題、今後の対策等
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	①現状と課題 授業における教員間の相互評価の取り組みに不十分な点がみられる。全ての科目において実施できるよう努力が必要である。 教育課程編成委員会ならびに学校関係者評価委員会を通して、外部評価者から寄せられた意見を学内教育に反映する取り組みが行われている。今後も、非常勤講師も含めた連携を図り教育活動に反映させる取り組みを継続する。 教員が参加した学会・セミナー等の伝達講習を開催した。しかし、すべての学会・セミナー等での実施には至っておらず不十分な点も見られる。 社会人教育の一環として、社会人としてのマナーや礼儀作法、違法薬物や飲酒運転等の危険性について外部講師を招き特別講義を行っている。 理学療法学科では、実習指導者会議にて学内教育に対する要望についてアンケートを実施し、それを学内教育に反映させる取り組みを行っている。実習施設側の要望により、今後の実習の参考資料として活用してもらう目的で、前年度派遣学生の全実習の総括資料を作成し提示した。 作業療法学科では、厚生労働省が掲げる地域の包括的支援サービス提供体制推進のもと「地域作業療法学」の拡充を図っている。特に「地域ケア会議」、「生活行為向上マネジメント」について、今後も動向を確認し、さらなる拡充が必要である。
・教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技実習等)が体系的に位置付けられているか。	4	
・授業評価の実施・評価体制はあるか。	3	
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3	

②今後の対策

学内教育の充実を図るため、授業における教員間の相互評価を計画的に実施し教授法の向上に努めるとともに、非常勤講師との連携をさらに図る必要がある。

教員が参加した学会・セミナー等の内容を伝達

・成績評価、単位認定制度卒業判定の基準は明確にされているか	4	<p>する講習会の機会を増やし、情報の共有化を図り質の向上を図る必要がある。</p> <p>外部講師を招いての、マナー講習や違法薬物や飲酒運転等の交通安全講習について継続的に実施していく必要がある。</p> <p>理学療法学科で実施した臨床実習指導者へのアンケートについては、臨床実習前の学内教育活動に反映させるため今後も継続していく。さらに、実習の総括資料を基に実習指導者と学内ならびに実習における指導内容について意見交換を積極的に行い、学内外における教育の質の向上を目指す。</p> <p>作業療法学科では、「地域ケア会議」「生活行為向上マネジメント」の提供体制推進に対する教員の研修等を含め研鑽を行い、学内教育に反映させる必要がある。</p>
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的位置付けはあるか。	4	
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を満たした教員を確保しているか	4	
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務兼務を含む)を確保するマネジメントがおこなわれているか	3	
・関連分野における先端的な知識技能等を習得するための研修や教員の指導力向上のための取組が行われているか。	4	
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	

(4)学修成果

評価項目	自己点検 評 定	自己点検評価での課題、今後の対策等
・就職率の向上が図られているか	4	<p>①現状と課題</p> <p>国家試験 100%合格を達成するべく国家試験対策に取り組み、一年を通じて学生個々の苦手科目の把握と強化を行っている。昨年度の国家試験の結果は、理学療法学科は 100%、作業療法学科は 94.7%であった。</p> <p>留年率低減のための対策として、成績不振の学生に対しての教員による個別指導ならびに実習対策、悩みを抱えている学生に対しての二者面談、三者面談を実施している。しかしながら、実習において不合格となる学生は情意面における未熟さを露呈しているケースが殆どであるため、学業面はもちろんのこと情意面における対策を更に強化する必要がある。</p>
・資格取得率の向上が図られているか	4	

<p>・退学率の低減が図られているか</p>	<p>3</p>	<p>卒業後のキャリア形成の一環として、学会発表等の支援を継続的に行っている。</p> <p>②今後の対策</p> <p>国家試験については、年度初めから対策を継続的に行うが、普段の授業から基礎学力の向上を目指し指導体制の強化を図る。さらに学科間における教員の連携を図り、より質の高い教育を目指す。</p>
<p>・卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</p>	<p>3</p>	<p>留年率低減のための実習対策として、①実習で必要となる知識と技術の習得、②他者とのコミュニケーション能力の強化、③規則遵守の徹底を重点的に行っている。①については実習を意識した授業を行い、これまで行っている対策を継続しながらより実践的な知識と技術の強化を図る。また、受動的な学習を排除し、学生が能動的に課題を持って学習に取り組めるような教育を図る。②については講義で学生が発言できる機会を増やし、コミュニケーションの苦手な学生も積極的に発言できる環境をつくる。③については普段の学内において規則やマナーの遵守を徹底する。また、実習前オリエンテーションにおいても厳しく再確認を行う。また実習中は、悩みを抱えている学生がいれば実習施設との連携を図りながら積極的にフォローを行う。さらに、実習前に行われる実習指導者会議を、指導者と学生の実習への導入がスムーズに行えるように企画する。</p>
<p>・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</p>	<p>3</p>	<p>今年度より情意面への対策としてスクールカウンセリングを導入することとした。</p> <p>卒業後のキャリア形成の一環として、学会発表等の支援を継続して行っていく。</p>

(5) 学生支援

<p>評価項目</p>	<p>自己点検 評 定</p>	<p>自己点検評価での課題、今後の対策等</p>
<p>・進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p>	<p>4</p>	<p>①現状と課題</p> <p>学生相談に関する体制については、必要に応じてクラス担任が対応しているが不十分な点も見られるため、スクールカウンセラーの導入が必要である。</p> <p>学生の健康管理は、学校医に委託し年1回健</p>
<p>・学生相談に関する体制は整備されているか</p>	<p>4</p>	

		<p>康診断を継続的に実施している。学生からの健康上の相談や発病・事故等については、教職員の連携体制を整備し適切な対応を行えるようにしている。また、事務室窓口に薬を常備し、必要に応じて保健室を使用するなどの体制も整えている。</p> <p>保護者との連携については、入学時の保護者説明会や10月に開催される授業参観を通し、本校の教育方針等について理解を得ている。さらに、保護者との連携強化を図るために、ホームページ等を活用し、情報提供を行っている。</p>
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	
・学生の健康管理を担う体制は整備されているか	3	
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	
・保護者と適切に連携しているか	3	
・卒業生への支援体制は整備されているか	4	
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	

②今後の対策

今年度より、学生の進路・生活等に対する教育相談体制の充実を図るために、カウンセリングの専門技術を身につけたスクールカウンセラーを導入することとした。

保護者との適切な連携を築くために、日常的な情報交換を行い、ホームページ等で保護者に向けた情報提供等を継続していく。

(6)教育環境

評価項目	自己点検 評 定	自己点検評価での課題、今後の対策等
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	<p>①現状と課題</p> <p>施設設備については、必要に応じた更新、修理等を行なっている。</p> <p>昨年度の事業計画として新たな学生駐車場の造成工事を行っている。</p> <p>理学療法学科、作業療法学科共に必要な臨床実習施設を確保している。</p>
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修について十分な教育体制を整備されているか	4	<p>防災については、10月に防災訓練を実施した。また、自衛消防体制組織を整備し、万が一に備えている。</p>

<p>・防災に対する体制は整備されているか</p>	<p>4</p>	<p>②今後の対策</p> <p>施設設備の更新や備品等の更新については、計画に基づき実施するとともに故障等があった場合は、速やかに対応する。</p> <p>現在、臨床実習施設は充分確保できているが、今後も学生に不利益が生じることがないように新規の受入施設の確保に努めるとともに現在受入をお願いしている施設との良好な関係を維持する必要がある。</p> <p>防災に対する体制整備については、今後も継続していく必要がある。</p>
---------------------------	----------	---

(7) 学生受入募集

<p>評価項目</p>	<p>自己点検 評 定</p>	<p>自己点検評価での課題、今後の対策等</p>
<p>・学生募集活動は適正に行われているか</p>	<p>4</p>	<p>①現状と課題</p> <p>昨年度の入試においては、ここ数年で最も多い志願者が得られた。</p> <p>本校の教育理念や教育目標・教育内容について理解を深めてもらうために、学校案内やホームページの更新を行い、最新の情報発信を行っている。また、高校訪問、進路指導課の先生方への学校説明会、オープンキャンパス、進学ガイダンス等を実施し、教育活動や国家試験・就職状況等を中心に情報提供を行っている。特にオープンキャンパス等では、本校が求める学生像を十分理解した上で志願してもらうために、入試概要や教育方針、学生生活について適切な情報提供を行っている。また、アンケートを実施して次回のオープンキャンパスに反映するように努めている。</p>
<p>・学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか</p>	<p>4</p>	<p>昨年度はオープンキャンパスを 3 回実施し、生徒・保護者の参加人数が過去最高を記録した。また学生募集活動では、県内の高校に加え県外(宮城県・福島県・秋田県)の高校へも訪問を行っている。</p>
<p>・学納金は妥当なものとなっているか</p>	<p>4</p>	<p>②今後の対策</p> <p>現在行っている広報活動、学生募集活動を継続し、本校の魅力をPRする必要がある。</p> <p>オープンキャンパスや進学ガイダンス等を通し</p>

		<p>て、生徒や保護者に対し正確で適切な情報を発信していく必要がある。</p> <p>学生募集活動として、高校単位での本校見学会や各高校への訪問授業等の機会を増やしていくと同時に、昨年同様に県外(宮城県・福島県・秋田県)への高校訪問を実施する。</p>
--	--	--

(8)財務

評価項目	自己点検 評 定	自己点検評価での課題、今後の対策等
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	<p>①現状と課題</p> <p>学校の財務基盤は収入の安定と数年間に渡り実施した経費節減の効果もあり安定している。</p> <p>今年度より新しい学校会計基準に則り処理を行っている。</p> <p>会計監査は年 3 回実施され学園監事による監査も年 1 回行われている。その他、税理士事務所による月次監査を受け適正な会計処理を行っている。</p> <p>財務情報の公開については、本校のホームページに学校法人諏訪学園の財務状況を公開している。</p> <p>②今後の対策</p> <p>学校の財務基盤は安定している。今後も引き続き効率の良い予算執行を行う。</p>
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	

(9)法令遵守

評価項目	自己点検 評 定	自己点検評価での課題、今後の対策等
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	<p>①現状と課題</p> <p>養成校として遵守すべき法令・指導要領に基づき運営、教育を行っている。</p> <p>理学療法士作業療法士養成校指定規則の改正について、厚生労働省や協会が行う研修会に参加し情報収集に努めている。</p> <p>個人情報の保護については、セキュリティの更新等を定期的に行っている。また、学外にデータを持ち出さないよう徹底している。</p> <p>自己点検の結果については、学校関係者評価委員会の報告書と共に本校のホームページで公開している。</p>
・個人情報保護に関し、その保護のための対策がとられているか	3	

・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	②今後の対策 定期的に関係法令を見直し、確認した上で運営、教育を行うこととする。 指定規則の改正において教員資格要件が改正されることを踏まえ、学位取得や教員講習会に参加するなど計画的に行う。 自己点検については、本校の実情を踏まえ、実情に即した点検を行ない運営、教育に活かす。
・自己評価結果を公開しているか	4	

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己点検 評 定	自己点検評価での課題、今後の対策等
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	①現状と課題 社会貢献・地域貢献活動については、昨年度に引き続き積極的に行っている。周辺地域の地域包括支援センターで企画した「元気もりもり応援隊」に講師登録し、昨年同様地域に対する公開講座を行っている。また、山形職業能力開発促進センターの依頼により離職者訓練の講師を行っている。さらに、専修学校、各種学校協会が計画している中学校への職業体験出前講座を実施している。 理学療法学科では、山形市社会福祉協議会の依頼により、訪問ヘルパーならびに介護サービス責任者に対するリハビリテーションや介護に関する講義、及び山形県からの委託を受け高校生のメディカルチェックに関する事業を実施している。 作業療法学科では、地域に対して認知症出前講座等を受託し積極的に実施している。また、地域ケア会議にも積極的に参加している。さらに、山形市健康福祉医療事業団主催の高齢者の健康および機能維持教室に参加し、高齢者の健康増進と機能維持を図っている。 学生のボランティア活動についても積極的に奨励しており、依頼件数の増加がみられる。その他、中学校や高校からの施設見学や職業体験等も積極的に受け入れており、進路を決めるうえでの情報提供に努めている。
・学生のボランティア活動を奨励支援しているか	4	
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	

②今後の対策

これまで実施した公開講座や学生のボランティ

		ア活動等について、今後も継続的に実施し社会貢献・地域貢献を行っていく。
--	--	-------------------------------------

4 学校関係者評価委員会の開催状況

日時 平成 28 年 5 月 17 日(火) 15:00～

場所 本校会議室

委員会の経過 本校の規程により梶原校長が議長となり、委員会を実施した。平成 28 年度後期の自己点検評価表及び関連資料について各担当者より報告し、外部委員より意見、要望等を受けた。

5 学校関係者評価委員からの意見、要望等

学修成果

退学者対策、留年者対策として様々な取り組みをされていると思うが、原因と対策について教えてほしい。

主な原因として、実習で不合格になり、退学留年となる学生が多い。レポートを提出できない、実習態度が消極的である、患者や指導者とのコミュニケーションがうまく取れないなど情意面に問題のある学生が多い。学内教育から指導を行なっているが実習となると出来なくなる学生が近年目立つのが現状である。

対策として、普段の授業から臨床実習を意識した授業を展開するようにしている。また、コミュニケーション能力の向上や社会性を身につけるための工夫を行なっている。

レポートが提出できないのは、学力不足、文書作成能力に問題があると考えられるので基礎学力の底上げをはかっている。

退学や留年の原因は、様々であるとは思いますができる限り減らせるよう取り組んでもらいたい。

最近はレポートを作成するのが苦手な学生が多い。他の大学などでもその傾向が見られるため、レポートの書き方やメールの送り方などを入学してから指導しているようである。

本校でも今後検討し実施していきたいと思う。

できる限り理学療法士作業療法士になる目標を達成させるよう指導してもらいたい。

臨床実習対策について

実習対策についてどのようにしているのか。

患者や指導者とのコミュニケーションを上手くとれない学生が多いので、通常の授業のグループワークの仕方を工夫したり、おとなしい学生に配慮したグルーピングをすることで、少しでも克服できるよう指導している。

また、様々な知識をつなげて物事を考える思考ができない学生が多いので、授業の中で指導している。

スクールカウンセラーについて

今年度からスクールカウンセラーによるカウンセリングを実施したことは、大変良いことだと思うので有効に活用してもらいたいと思う。

今年度は、週1回時間をとってお願いしている。利用状況をみながら回数を増やすなど検討したいと考えている。また、専任教員がスクールカウンセラーから話を聞く機会を設けるなど教員研修も実施したいと考えている。

悩みを抱える学生は多いと思う。少しでも問題解決に繋がれば良いと思う。

学生の個人情報に配慮しながら、カウンセラーの先生と学科長、担任教員が連携し学生の指導ができればと考えている。

近年、企業でも社員のメンタルヘルス対策としてストレスなどに気遣い様々なことを行なっている。学校でも産業医や専門家の講演を聞く機会を設けてみてはどうか。学生指導に役立てることができるのではないかと。学生に聞かせるのも良いと思う。

今後、検討したいと思う。

学生募集活動

少子化の中、志願者が増えていることは大変良いことだと思う。志願者の動機づけなどに変化はあるのか。

以前に比べて理学療法士作業療法士に対する認知度が上がっているように感じられる。高校の先生方への説明会などを実施していることもあり本校を進めてくださることも多いようである。また、高校時代にケガをしてPTやOTの世話になったことがきっかけとなることも多いようである。

る。引き続き本校の魅力をアピールしていきたいと考えている。

県外の高校への訪問を今年から実施しているが成果はどうか。

実際に県外からの志願者が増えてはいないが数年続けて実施することが大事だと考えている。

総 括

以前からアクティブラーニングを取り入れている点や学生や教員が地域貢献活動を積極的に行なっている点、スクールカウンセラーの導入など学校の質を高めるよう取り組んでいることは大変良いことである。今後も引き続き質の高い学校運営、教育を実施していただきたい。

本日、委員の皆様からいただいた意見、要望等については、運営委員会等で検討していくことといたします。